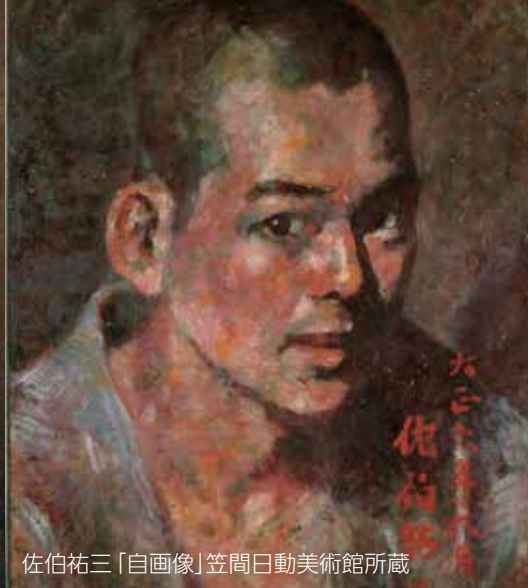
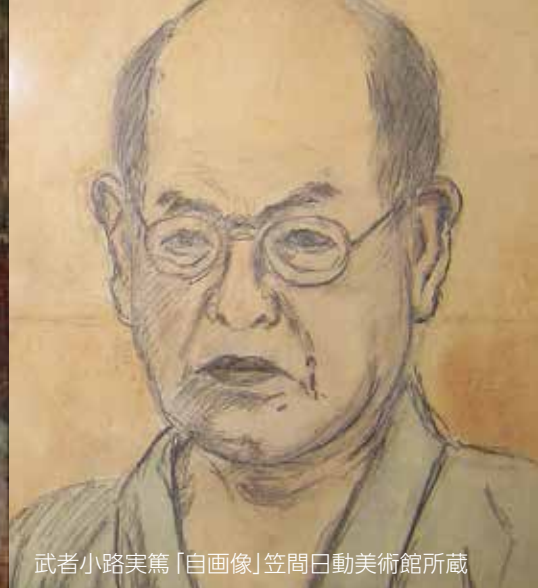




高橋由一「丁髷姿の自画像」笠間日動美術館所蔵



佐伯祐三「自画像」笠間日動美術館所蔵



武者小路実篤「自画像」笠間日動美術館所蔵

## 都城市立美術館特別展

# 自画像

## キャンバスの中の画家たち

画家が自身を描いた「自画像」は、描く人と描かれる人が同一なことから、絵画の中でも特殊なものと位置付けられています。今回の特別展では、笠間日動美術館のコレクションを中心に、120人の自画像を一挙展示。キャンバスの中で悠久の時を過ごす画家らが語りかけるものを、ぜひ、体感してみませんか。

◎問い合わせ 市立美術館 ☎25-1447

### 見どころ

多くの画家が、人体表現の研究や自己探求の一環として一度は手掛ける題材である「自画像」。その表現手法は多様性に富んでいます。髪の毛など細かな部分まで自分の姿を写し取った写実的なものから、画家の内面がうかがえる抽象的なものまであり、画家が自己と真剣に向き合った結果が表れています。

### 【主な展示作家】

武者小路実篤、藤田嗣治、草間彌生、鴨居玲、渡辺武夫、梅原龍三郎、ピカソ、シャガールなど

### 特別展概要

#### ●会期

10月19日(土)～12月1日(日)

※月曜日は休館(月曜日が祝日のと



萬鉄五郎「自画像」笠間日動美術館所蔵

### きはその翌日

#### ●観覧料

一般800円(6000円)

高校・大学生600円(4000円)

中学生以下無料

※(一)は20人以上の団体や前売りなどの割引料金。11月3日(日)の文化の日は観覧料無料

### 関連無料イベント

#### ワークショップ

河野宗平さん(二紀会準会員・宮日美展無鑑査・市立西中学校教諭)を講師に迎え、世界の巨匠の作風を参考にした自画像を描きます。

●日時 10月27日(日) 13時～16時

●場所 市立美術館

●定員 10人 ※要申し込み

#### 講演会

「日本近代画家による自画像を見るいくつかの視点」をテーマに、山梨絵美子さん(東京文化財研究所副所長)が講演します。

●日時 11月10日(日)

14時～15時30分

●場所 中央公民館

●定員 40人 ※要申し込み

#### ギャラリートーク

市立美術館の学芸員による作品解説を行います。申し込みは不要ですが、入場には特別展チケットが必要です。

●日時 11月2日(土)・16日(土)・24日(日) 14時～

※その他の関連イベントなど詳しくは、特別展の特設サイトで確認ください







「関ヶ原合戦図屏風」

## 都城島津伝承館特別展

# 島津義弘と都城

戦国期における、島津義弘の活躍を紹介する今回の特別展。当時の島津家の様子を記した「島津家文書」などの国宝をはじめ、島津家が九州計略へと乗り出す過程にあった「百川合戦」の様子を描いたびょうぶなど、貴重な史料を多数展示します。近世島津家の礎を築いた義弘の活躍に触れてみませんか。

◎問い合わせ 都城島津邸 ☎23-2116

### 島津義弘とは

戦国時代後半から太平の世に至る変革の時代に活躍した島津義弘。関ヶ原の戦いの敵中突破でも有名です。北郷家9代当主忠親ただちかの養子になり、庄内の乱で活躍するなど、北郷家や都城と深い関係があります。

### 特別展概要

都城の人々と義弘の関わりや、義弘の文化人としての側面が、都城の人々の間でどのように伝えられたのかをひもときます。

### 会期

10月12日(土)～11月24日(日)

※月曜日は休館(月曜日が祝日のときはその翌日)。11月6日(水)は展示替えのため、伝承館休館



「島津義弘公馬上姿」

### 観覧料

大人400円(300円)  
高校・大学生300円(200円)  
中学生以下無料

※( )は20人以上の団体料金

### 主な展示史料

「関ヶ原合戦図屏風(埼玉県行田市郷土博物館所蔵)」

中央の上部付近に合戦の状況を見つめる義弘のほか、島津家の家紋のぼりを持つ家臣が描かれています。  
「小松甲川筆・島津義弘公馬上姿(鹿児島市立美術館所蔵)」

島津家の家紋を背に、馬にまたがった勇ましい姿の義弘が描かれています。

「色々威胴丸 兜・大袖付(重要文化財、黎明館寄託)」

義弘の父貴久が、正八幡宮(現・鹿児島市)に寄進したものです。室町時代の典型的な形状の甲冑です。

### 関連イベント(無料講演会)

都城関係史料からみた島津義弘の活躍について、畑山周平さん(東京大学史料編纂所助教)が講演します。

●日時 11月2日(土) 13時30分

※申し込み不要

●場所 ウエルネス交流プラザ



「色々威胴丸 兜・大袖付」





## 第14回 都城市市民意識調査

# ふれあいアンケート結果

市では、市民の皆さんの意見を市政に反映させるため、6月から7月にかけて「都城市市民意識調査（ふれあいアンケート）」を実施しました。調査に協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

今回は、満18歳以上の約12万人の市民の皆さんの中から無作為に選んだ3,000人を対象に、本市の住みやすさや取り組み、住宅用火災警報器、がん検診、肥満、環境問題などについて調査を行いました。

回答者は1,191人（男性500人、女性652人、無回答39人）で、回答率は39.7%でした。なお、詳細な結果は、市のホームページで紹介します。  
◎問い合わせ 秘書広報課 ☎23-3174

### ●男女別回答者数

性別	回答者	比率
男性	500人	42.0%
女性	652人	54.7%
無回答	39人	3.3%
計	1,191人	100.0%

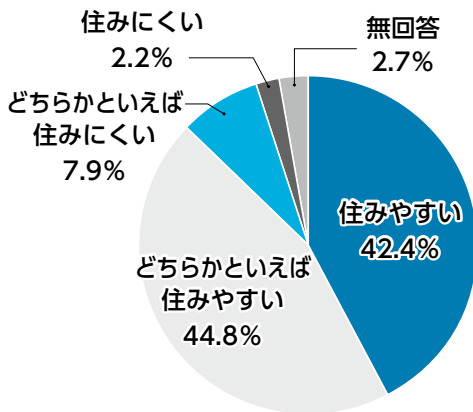
### ●年代別回答者数

年代	回答者	比率
10代	11人	0.9%
20代	69人	5.8%
30代	117人	9.8%
40代	187人	15.7%
50代	196人	16.5%
60代	331人	27.8%
70代以上	251人	21.1%
無回答	29人	2.4%
計	1,191人	100.0%

### ●地区別回答者数

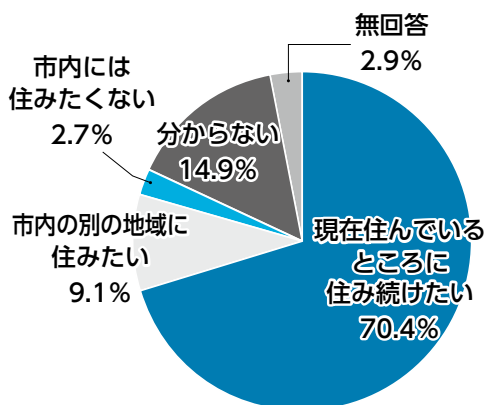
地区	回答者	比率
姫城	83人	7.0%
妻ヶ丘	142人	11.9%
小松原	74人	6.2%
祝吉	132人	11.1%
五十市	151人	12.7%
横市	92人	7.7%
沖水	96人	8.1%
志和池	40人	3.4%
庄内	47人	3.9%
西岳	11人	0.9%
中郷	55人	4.6%
山之口	44人	3.7%
高城	68人	5.7%
山田	52人	4.4%
高崎	75人	6.3%
無回答	29人	2.4%
合計	1,191人	100.0%

**●解説**  
本市の住みやすさについては、約9割の人が「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と感じています。  
年代別に見ると「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と感じている人は、20代の95%が最も多く、逆に最も少ないのは10代の85%となっています。各年代とも85%を超えており、都城市を住みやすいと感じている人が多いことが分かります。



Q 今の都城市を住みやすいと感じていますか。

これからも住み続けたいかについては、約8割の人が「現在住んでいるところに住み続けたい」「市内の別の地域に住み続けたい」と考えており、次いで60代、50代という順になっています。年代が上がるにつれて、住み続けたいという傾向にあります。



Q これからも都城市に住み続けたいですか。

## 都城市の住みやすさ

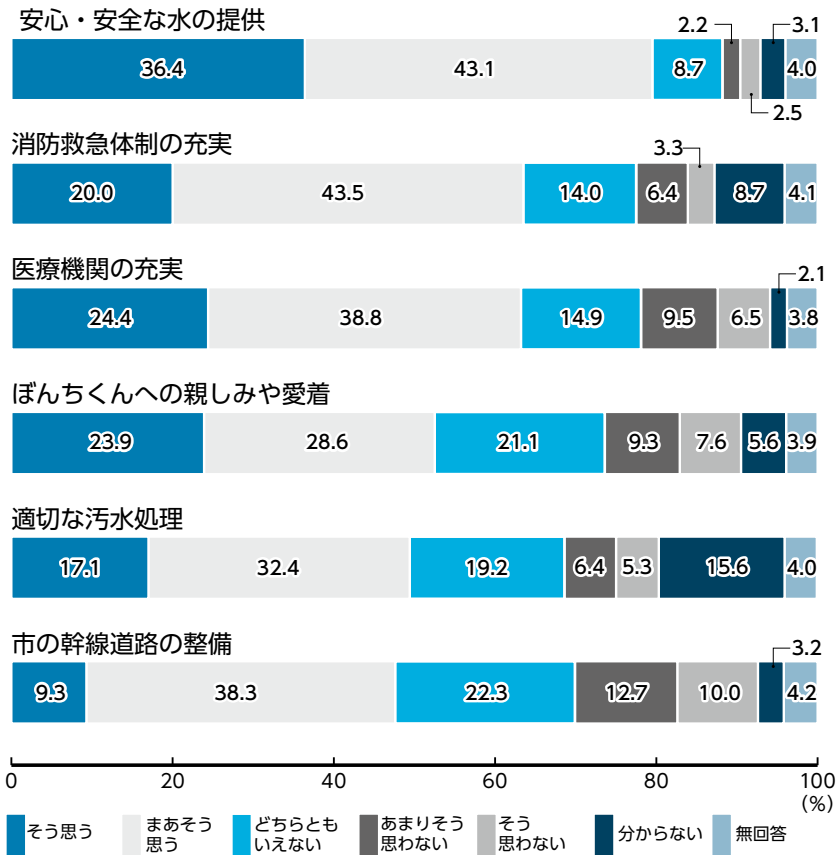




# 市の取り組みへの考え



(複数回答 上位6項目)



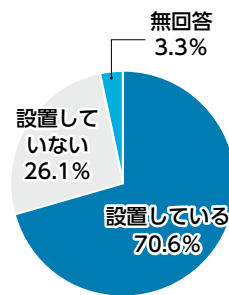
●解説  
市の政策などの方針の指標として活用することを目的に、昨年調査した項目の内容を見直し、経年で調査する項目を25問設定しました。

今回は、「そう思う」「まあそう思う」の回答が多かった上位6項目を紹介します。項目ごとに経年比較した調査結果など詳しくは、市ホームページで確認できます。

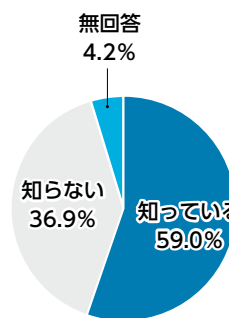
# 住宅用火災警報器



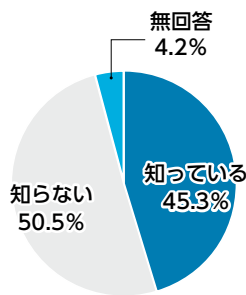
Q 住宅用火災警報器を設置していますか。



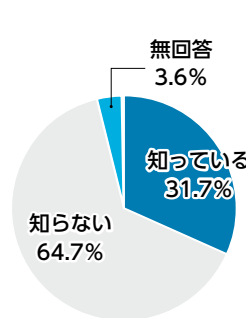
Q 全ての寝室に設置義務があることを知っていますか。



Q 設置10年を目安に交換が必要と知っていますか。



Q 購入費用の一部助成を知っていますか。



●解説  
消防法の規定で設置が義務付けられている住宅用火災警報器の設置状況について調査しました。「設置している」は7割で、昨年の調査から3割の増加となりました。また、住宅用火災警報器は設置してから10年を目安に交換が必要であることを知っているかという質問は、「知っている」が45割、

「知らない」が51割で、知らない人が半数となりました。市では、住宅用火災警報器の設置を推進するため、購入費用の一部助成をする「安心クーポン券」を配布しています。自身や家族の命を守るためにも、住宅用火災警報器を設置しましょう。

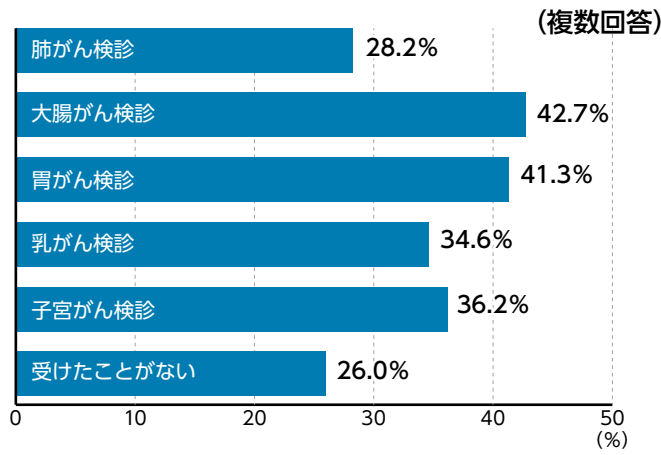


消防局ホームページ

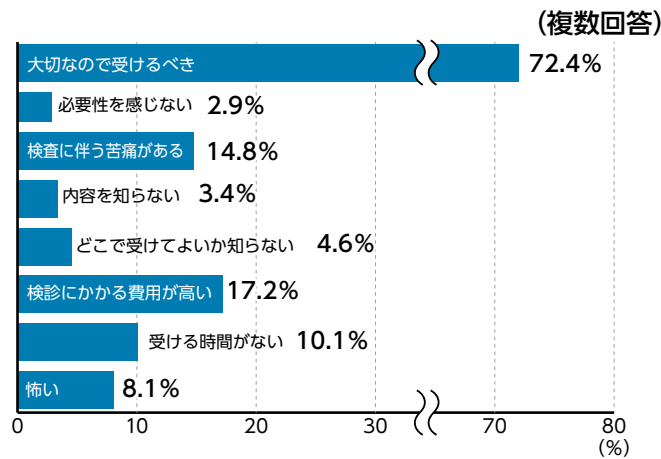
# がん検診



Q 今までに次のがん検診を受けたことがありますか。



Q がん検診を受けることについてどう思いますか。



## ●解説

がん検診の受診経験と受診に対する考えについて調査を行いました。がん検診の受診経験については、「大腸がん検診」が43割と最も多く、次いで「胃がん検診」が41割となっています。また、女性のみの回答

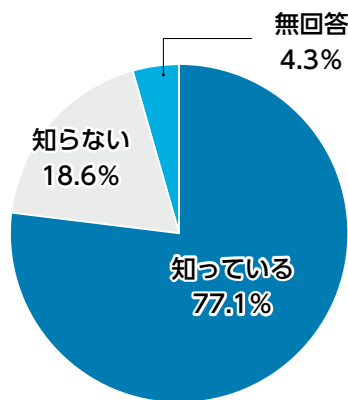
数のうち、乳がん検診の受診経験については60割、子宮がん検診については63割となっています。

市では、がん検診の受診率を向上させる取り組みとして、検診ガイドの各戸配布や、40歳以上の人を対象に大腸がん検診の案内を送付しています。

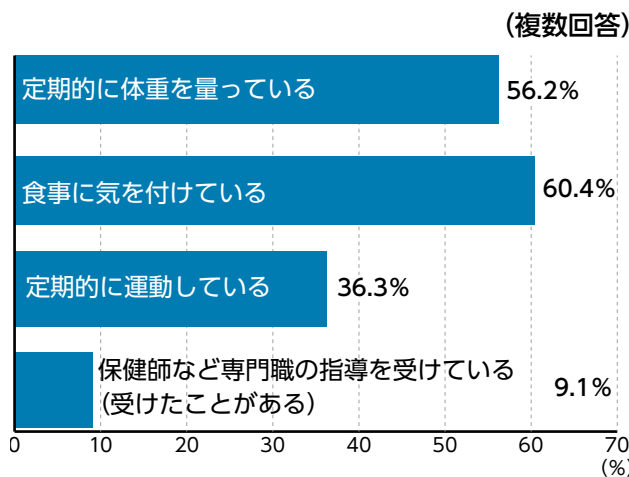
# 肥満



Q BMI(体格指数)が25以上だと肥満であることを知っていますか。



Q 肥満を解消するための取り組みを行っていますか。



## ●解説

肥満によって、糖尿病や高血圧などの生活習慣病だけでなく、食道や肝臓、すい臓、大腸などのがんになるリスクが上昇します。今回は、BMI(体格指数)の認知度と、肥満を解消するための取り組みについて調査を行いました。

BMIの認知度については、

「知っている」が77割で、全ての年代で関心が高いことがわかりました。

肥満を解消するための取り組みについては、「食事に気を付けている」が60割と最も多く、次いで「定期的な体重を量っている」が56割、「定期的な運動している」が36割となっています。

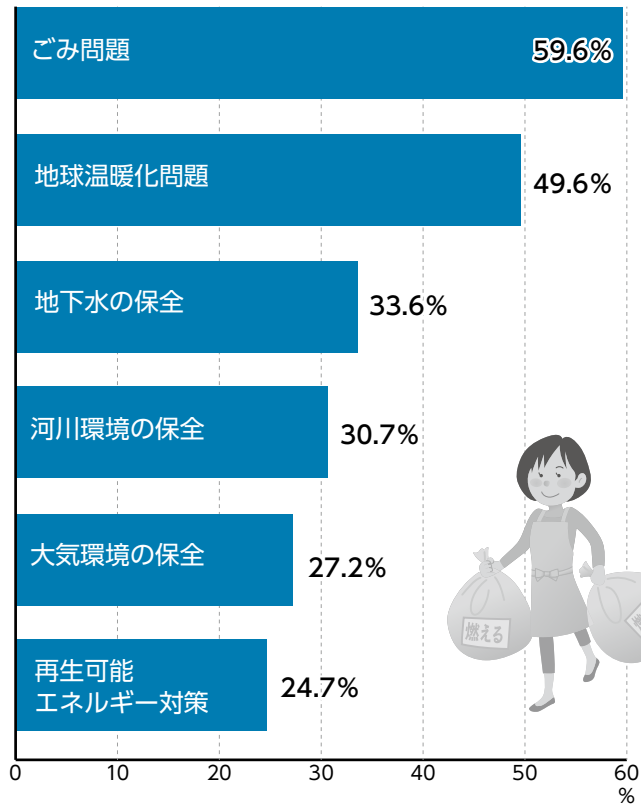


# 環境問題



Q あなたが関心の高い環境問題は何ですか。

(複数回答 上位6項目)



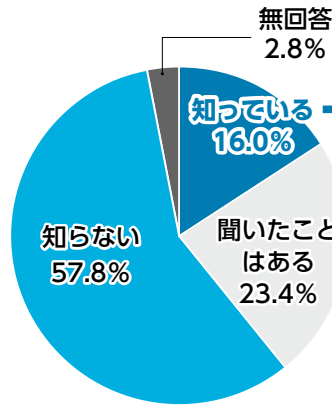
●解説  
ごみ問題や地球温暖化など環境問題が年々深刻化しています。どのような環境問題に関心を持っているか調査を行いました。回答が多かった順に「ごみ問題」が60割、次いで「地球温暖化」が50割、「地下水の保全」が34割となっています。

また、男女別・年代別でも同様の結果となっていて、「ごみ問題」が共通して関心の高い問題といえます。私たちの環境を次世代へつないでいくため、自分にできることから実践していきましょう。

# 3010運動

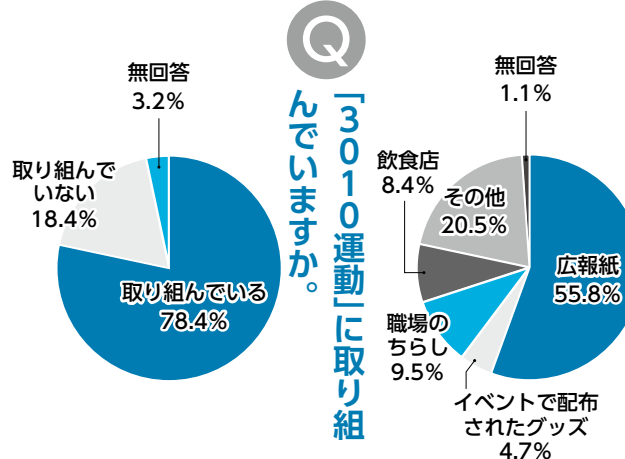


Q 市が取り組んでいる「3010運動」を知っていますか。



「知っている」と答えた人のみ回答

Q 「3010運動」を知りましたか。



Q 「3010運動」に取り組んでいますか。

●解説  
市では、食品ロスを減らすための取り組みとして「3010運動」を推進しています。この運動について調査したところ、「知っている」が16割、「聞いたことはある」が23割と、約4割の人が知っていました。また、知っている人と回答した人で3010運動の取り組みを調査したところ、

「取り組んでいる」が78割でした。会食や宴会で注文する際は、適量を注文し、乾杯後の30分間と終了前の10分間は料理を楽しむ、食べ残しを減らしましょう。また、家庭の冷蔵庫内を点検して、食材の消費・賞味期限を把握し、期限の迫っているものから使い切ることで、食品ロスを少なくしましょう。